

倉見山行報告 2018/3/24

【山城】道志山塊・倉見山

【メンバー】CL 柘植 清野 吉瀬 高地 磯部(記録)

【行程】2018/3/24(土) 概ね晴れ

千葉駅北口 6:00⇒検見川浜 6:15⇒幕張 IC(京葉道～首都高～中央道)⇒都留 IC⇒西桂町
町民グランド駐車場(駐車)9:35→厄神社→登山口 9:55→さすの平 10:55→倉見山 山頂
12:00(大休止)12:30→見晴台→堂尾山公園 13:50→町民グランド着 14:50⇒帰葉 19:00

【内容】

夜明け前に降った雨も上がり晴天を期待して出発する。6時を過ぎていたので心配したが行楽渋滞はそれほどでもなく、車の中では女子4人のおしゃべりの花、窓外は本物の花盛り、柘植さんの運転に安心しきって楽しく過ごしているうちに都留 IC に到着。

西桂町町民グランド駐車場は入口が少々分かりにくかったが、綺麗なトイレもあり何より無料なのがあるがありがたい。身支度を整えて出発、途中地元の方に道を聞きながら危なげな川沿いの道を(工事のための迂回路)通り、厄神社の右側の登山口から登り始める。



三ツ峠をバックに



土石流緩衝堰堤

21日に降った雪だろうか、道には雪が残っている。春の重い雪によって太い杉の枝が折れて道を塞いでいるところもあったが、見上げれば、キブシが黄色の細かい房を沢山つけて、春の装いだ。



沢沿いの道を行く



さすの平からは下界が一望できる

しばらくは杉の植林の暗い雪道をつづら折りに登っていく。30分ぐらいの登りの後、広葉樹の自然林に入ってきた。沢沿いの日当たりに万作が咲いている、まだまだ他の落葉樹は冬芽を漸く膨らませているというところだが、春に先駆けて、明るく輝いている。

さすの平にて休憩、西桂町を見下ろす。頂上までの1時間弱はアイゼンを着ける程ではないが、10センチぐらいの積雪があり雪解けの道よりはずっと歩きやすい。少しきつい傾斜を登り詰めて頂上に到着、期待していた富士山は残念ながら裾野らしいところしか見えなかったが、春の息吹を吸いながら楽しい昼食タイムとなった。特に柘植さんが持ってきてくれたリンゴを、吉瀬さんの器用な手で公平に五等分された、食後のフルーツがとっても美味しかった。



結構雪深いが先行者のトレースあり



倉見山の山頂

そうこうしていると、けっこうな高齢者(私よりは)の方々が到着、互いに写真の撮り合いをする。下りは何度か登り返し、広葉樹の自然林を抜けて堂尾山公園にて休憩。朽ちかけた東屋が廃墟のように屋根だけが残っていたが、正面に富士山の裾野が広がっているのがはっきりと見えて救われた。

それからは、雪の植林を抜け町民グラウンドへ向かった。先の大風で倒れたのか、倒木や折れた枝がルートを塞いでおり、結構分かり難いが先行者のトレースをたよりに無事に出発地点の町民グラウンドに戻ることができた。里は桜やまだ残っている梅の花がきれいで、いよいよ春本番?を感じさせてくれる景色でした。(山行報告:磯部 菊子)



堂尾山公園のあずまや!?



倉見山行程図